



九州の鉱工業生産動向

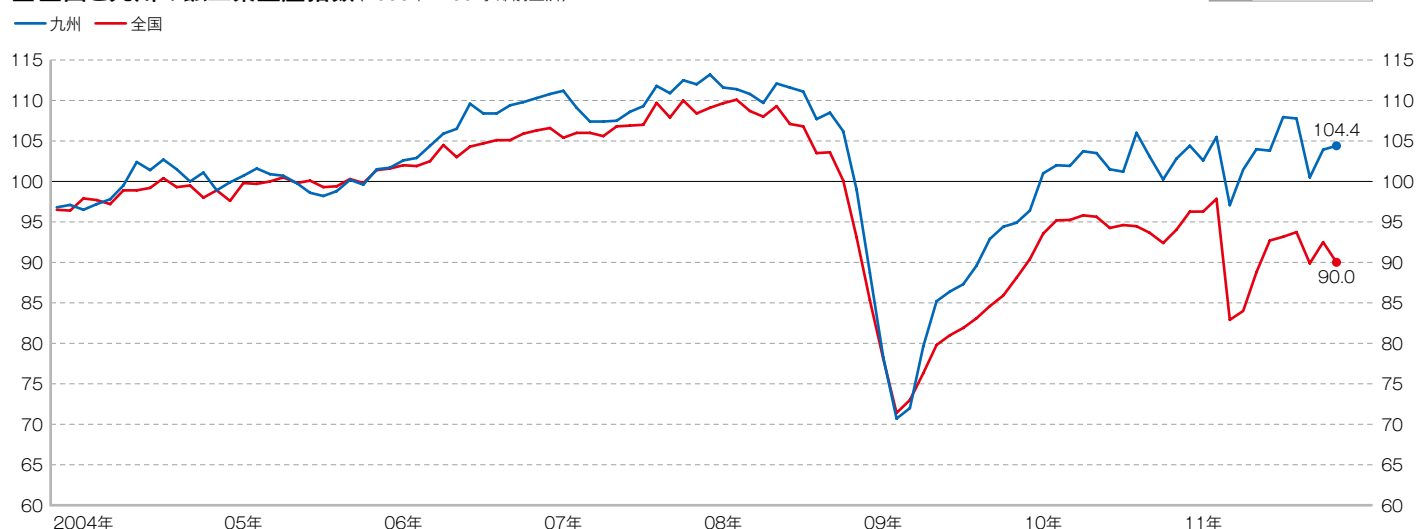
基調判断 | 生産は横ばい傾向

2011年11月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.4%上昇の104.4と2ヵ月連続で上昇しました。

タイの洪水被害の影響や欧州景気の減速等を背景に、電子部品・デバイスや輸送機械等は前月から低下したものの、一般機械では増産の動きが見られる等、強弱混在する中、生産は横ばいで推移しています。

■全国と九州の鉱工業生産指数 (2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

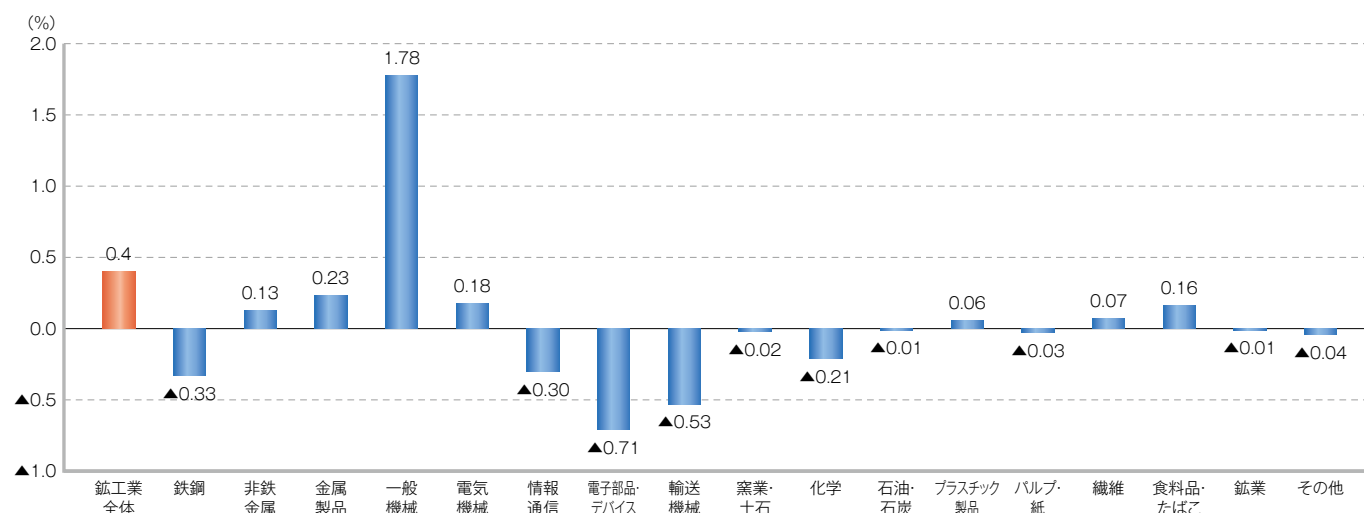


業種別動向 | 電子部品・デバイス、輸送機械、鉄鋼が低下した一方、一般機械等が上昇

業種別の寄与度をみると、タイ洪水被害により半導体や自動車関連での一部部品調達に影響があった電子部品・デバイスや輸送機械に加え、自動車向け鋼材を供給する鉄鋼でも減産の動きが見られましたが、一方で、半導体製造装置の需要下げ止まりや海外向け石油精製プラント用機器の受注があった一般機械等がプラスに寄与しました。

■業種別寄与度 (鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動については、主力の一般機械が低下した一方、自動車生産が好調な輸送機械が上昇したほか、鉄鋼、化学にも増産の動きが見られました。

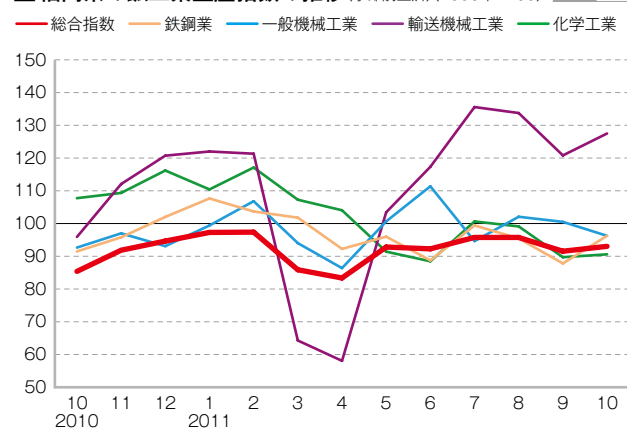
消費面では、大型小売店販売額は、アクセサリー等の身の回り品をはじめとする衣料品等が好調だったほか、新博多駅ビルの開店効果等から前年を上回っています。住宅建設については、貸家と分譲マンションの着工が好調で前年を上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.9となり、前月比1.1%上昇しました。

主要業種では、半導体製造装置等の需要減少により一般機械が低下した一方、自動車の生産が好調な輸送機械、一部設備の定期修理が終了した鉄鋼、化学の上昇がプラスに寄与しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



2.大型小売店 | 10ヵ月連続で前年を上回る

11月の大型小売店販売額は、前年同月比4.5%増の570億円と、10ヵ月連続で前年を上回りました。

アクセサリー等の身の回り品をはじめとする衣料品や菓子類等の飲食料品が好調だったほか、新博多駅ビルの開店効果もあり、前年を上回る状況が続いています。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



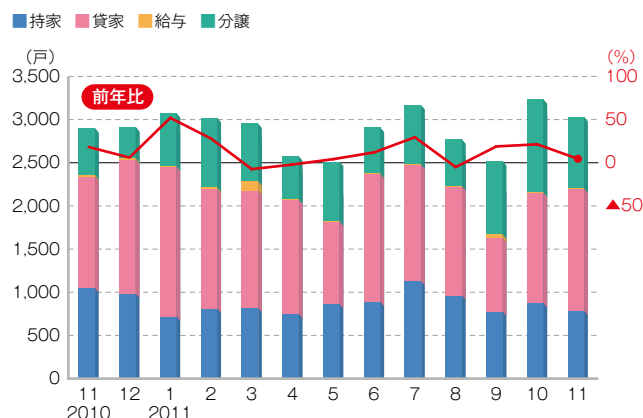
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.8%増の3,039戸と前年を上回りました。

持家は前年を下回ったものの、分譲マンションは販売在庫の減少等を背景に新規着工が増加したほか、貸家も持ち直しの動きが続いており前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



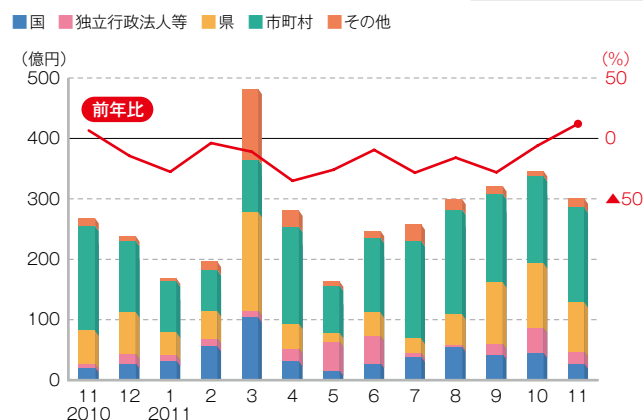
4.公共工事 | 請負金額は12カ月ぶりに前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.5%増の1,126件、金額は同12.0%増の300億円となり、請負金額は12カ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、「市町村」が前年を下回ったものの、「国」「独立行政法人等」で橋梁工事や大学研究所建設工事等の大型案件があったことで、全体では、件数、金額ともに増加しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証

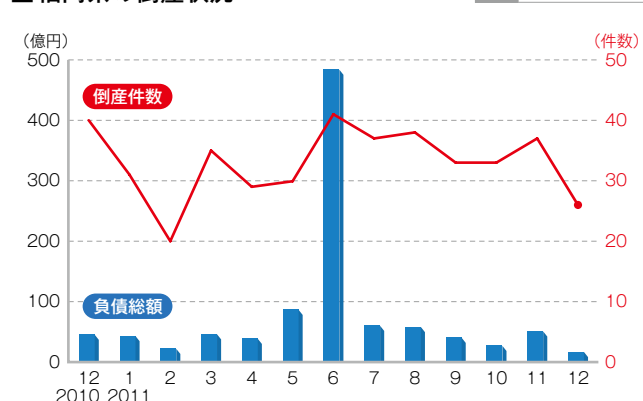


5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、家具製造業で5億円以上の大口の倒産があったものの、負債総額は前年同月比64.5%減の16億円となり、また、件数も同35.0%減の26件と、負債総額、件数ともに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

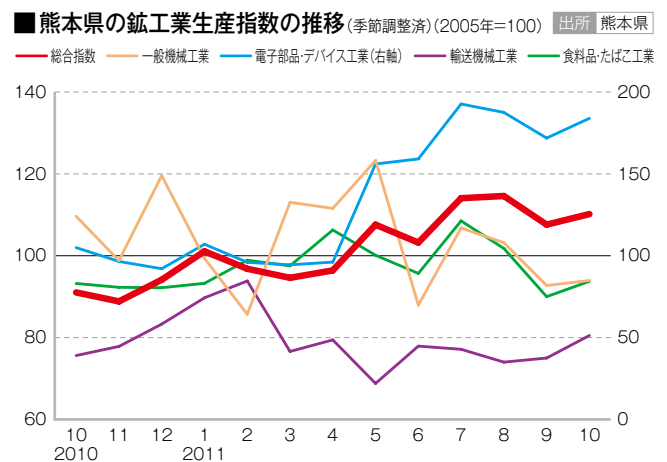
生産活動については、国内自動車・スマートフォン向け半導体の増産や半導体用計測機器の需要回復により主力の電子部品・デバイス、一般機械等に上昇の動きが見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、昨年の年初にショッピングセンターが閉店した影響が続いており、9ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設は、景気の先行き不透明感等から持家および貸家は前年を下回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに上昇

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は110.0となり、前月比1.9%上昇しました。

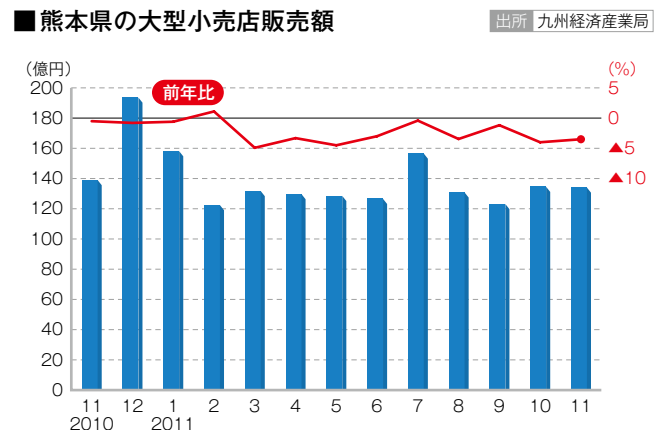
主要業種では、国内自動車・スマートフォン向け半導体の増産により電子部品・デバイスが好調だったほか、半導体用計測機器の増産等により一般機械の上昇もプラスに寄与しました。



2. 大型小売店 | 9ヵ月連続で前年を下回る

11月の大型小売店販売額は、前年同月比3.5%減の134億円と、9ヵ月連続で前年を下回りました。

物産催事等により生鮮食品・菓子類等の飲食料品は好調だったものの、昨年の年初に大型ショッピングセンターが閉店した影響に加え、婦人服等の衣料品では季節商品の動きが鈍く、全体では前年を下回っています。



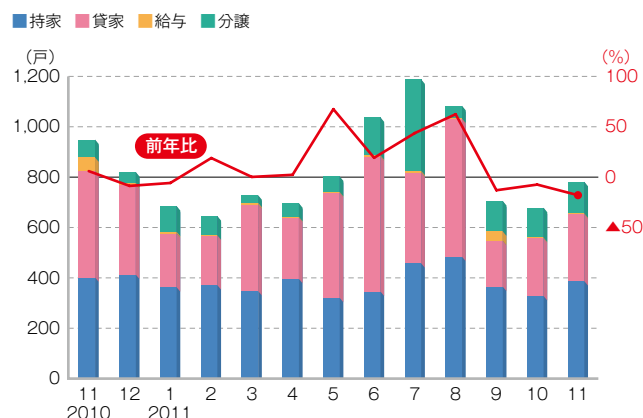
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を下回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比17.8%減の781戸と3カ月連続で前年を下回りました。

分譲は前年を上回ったものの、住宅取得関連の優遇策見直しや景気の先行き不透明感等から、持家および貸家は前年の水準を下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



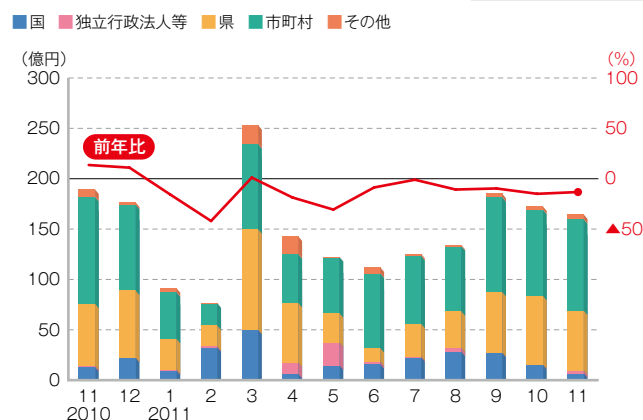
4.公共工事 | 請負金額は8カ月連続で前年を下回る

11月の公共工事保証請負状況は、大型案件が乏しく、金額は前年同月比13.1%減の164億円となり、また、件数は同1.1%減の794件となりました。

発注者別で見ると、「独立行政法人等」以外は全て前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数は前年を上回る

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比倍増の11件、負債総額は同12.3%減の23億円となりました。

車両部品メーカーで採算悪化による不況型の倒産があったほか、過去倒産した大手スーパーマーケットチェーンの関連企業の自己破産により約12億円の倒産が発生しました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが弱まっている

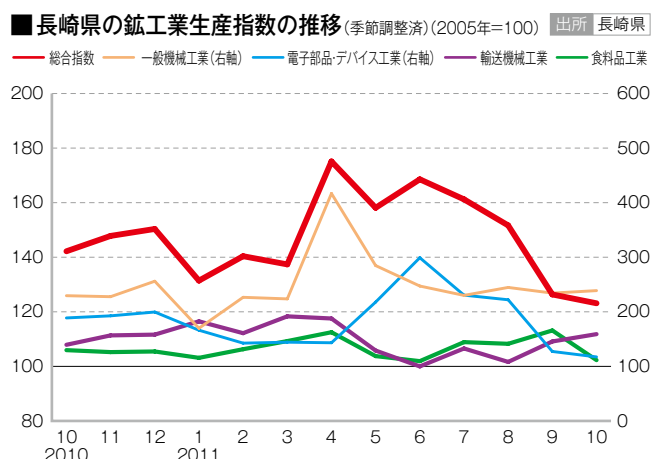
生産活動については、電子部品・デバイスにおいて、シリコンウェハー等の半導体関連製品の減産の動きがマイナスに寄与する等、持ち直しの動きが弱まっています。

消費面では、大型小売店販売額は、7月末の百貨店閉店の影響が大きく、4ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設については、持家の着工が好調だったこと等がプラスに寄与しました。

1. 生産活動 | 総合指数は4ヵ月連続で低下

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は123.2となり、前月比2.7%低下しました。

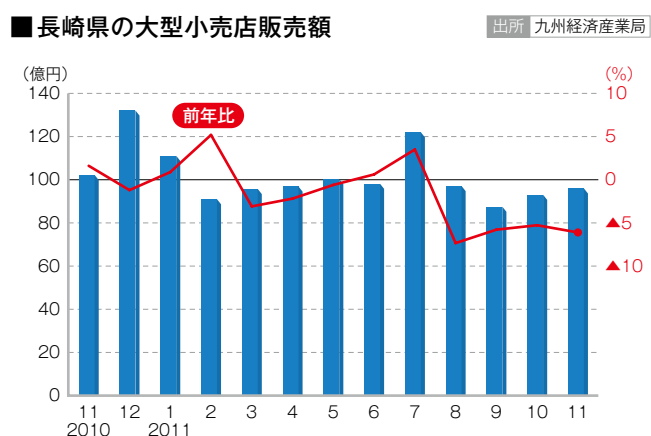
主要業種では、発電用タービンの生産が好調な一般機械や、造船が一定の操業度を維持している輸送機械が上昇したものの、シリコンウェハー等の半導体関連の需要減速が大きい電子部品・デバイスの低下が、マイナスに寄与しました。



2. 大型小売店 | 4ヵ月連続で前年を下回る

11月の大型小売店販売額は、前年同月比6.1%減の96億円と、4ヵ月連続で前年を下回りました。

主力の衣料品は冬物商品の動きが鈍かったことに加え、7月末の百貨店閉店の影響も依然続いており、全般的に低調に推移しました。





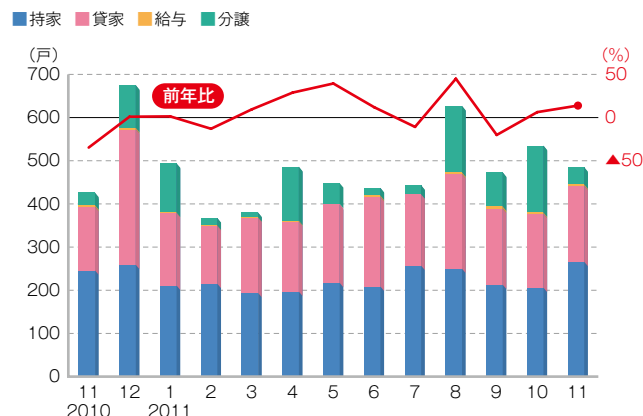
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を上回る

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.8%増の485戸と前年を上回りました。

持家および貸家は前年を上回ったほか、前年は実績の無かった分譲マンションの着工等がプラスに寄与しました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



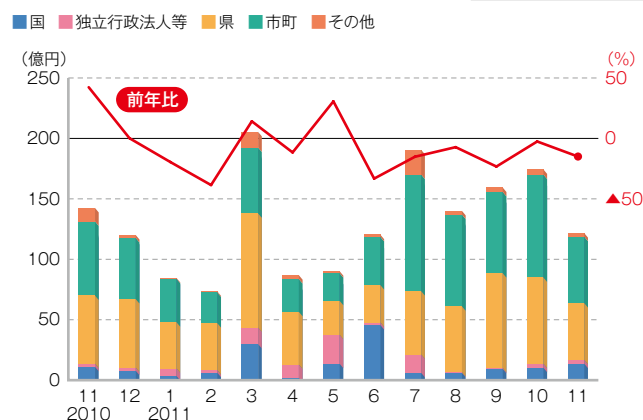
4.公共工事 | 請負金額は6カ月連続で前年を下回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比22.8%減の429件、金額が同14.7%減の122億円となり、請負金額は6カ月連続で前年を下回りました。

発注者別で見ると、「県」「市町」が陸上競技場新築等の大型案件の発注があったものの前年を下回り、また、「その他」も昨年大幅に発注が増加した反動から減少しました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比22.2%減の7件となりましたが、負債総額は前年から倍増の14億円となりました。

販売不振を原因とする不況型の倒産が、不動産賃貸業、卸売業等で見られました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

